

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) **登録実用新案公報(U)**(11) 実用新案登録番号
**実用新案登録第3181218号
(U3181218)**

(45) 発行日 平成25年1月31日(2013.1.31)

(24) 登録日 平成25年1月9日(2013.1.9)

(51) Int.Cl.

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

F 1

A 4 1 B 13/02

R

評価書の請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 17 頁)

(21) 出願番号

実願2012-6862 (U2012-6862)

(22) 出願日

平成24年11月12日 (2012.11.12)

(73) 実用新案権者 508262168

小川 和代

東京都江東区東陽5丁目26番1号

(74) 代理人 100110434

弁理士 佐藤 勝

(74) 代理人 100117547

弁理士 須田 浩史

(72) 考案者 小川 和代

東京都江東区東陽5丁目26番1号

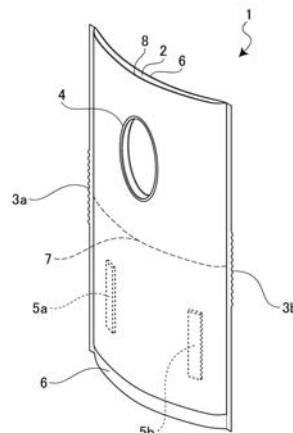
(54) 【考案の名称】 尿取りパッド

(57) 【要約】

【課題】簡易且つ迅速に装着でき、快適に使用できる尿取りパッドを提供する。

【解決手段】この尿取りパッドは、シート状の吸收性部材と、上記吸收性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、を備え、上記吸收性部材及び上記バックシートからなる積層体の略中央部よりも上の領域において当該積層体の長手方向に延びた開口部が設けられており、装着に際しては上記開口部より陰茎を挿入し、当該開口部よりも下に設けられた上記積層体の短手方向に平行な折曲部で上記積層体を上記バックシートが外面となるように折り曲げることを特徴とする。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

シート状の吸収性部材と、
上記吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、
を備え、

上記吸収部材及び上記バックシートからなる積層体の略中央部よりも上の領域において
当該積層体の長手方向に延びた開口部が設けられており、

装着に際しては上記開口部より陰茎を挿入し、当該開口部よりも下に設けられた上記積
層体の短手方向に平行な折曲部で上記積層体を上記バックシートが外面となるように折り
曲げること

を特徴とする尿取りパッドが提供される。

【請求項 2】

上記吸収性部材の他方の面には液透過性部材からなるトップシートが貼り付けられてい
ること

を特徴とする請求項 1 に記載の尿取りパッド。

【請求項 3】

上記バックシートの中央より下方の領域には、上記積層体の長手方向に平行となるよう
に所定長の粘着テープが設けられていること

を特徴とする請求項 1 に記載の尿取りパッド。

【請求項 4】

上記積層体の長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ糸ゴム入りのギャザーが
設けられていること

を特徴とする請求項 1 に記載の尿取りパッド。

【請求項 5】

吸収性部材と、当該吸収性部材の一方の面に貼り付けられたバックシートとを有する積
層体を、備え、上記積層体の長手方向の両端が接合部で接合することで、上部及び下部の
少なくともいずれかが開口した中空の筒状体に成形され、上記積層体の長手方向の略中央
から上部にかけて所定長の開口部が設けられていること

を特徴とする尿取りパッド。

【請求項 6】

上記吸収性部材の他方の面には液透過性部材からなるトップシートが貼り付けられてい
ること

を特徴とする請求項 5 に記載の尿取りパッド。

【請求項 7】

上記バックシートの開口部の配設位置と対向する面には、所定長の粘着テープが設けら
れていること

を特徴とする請求項 5 に記載の尿取りパッド。

【請求項 8】

上記積層体の上部の開口部には、略 U 字状のくぼみ部が設けられていること
を特徴とする請求項 5 に記載の尿取りパッド。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、例えば紙おむつ等の中に重ねて装着する尿取りパッドに関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、成人用の使い捨ておむつと併せて、尿取りパッドが広く使われている。特に男性
用の尿取りパッドには、男性器を覆うようなタイプのものがある。これは、尿を効率良く
吸収することができ、排尿の度に当該尿取りパッドだけを交換すればよいので、経済的負
担を軽減することができ、しかも衛生状態を保つことができる。

10

20

30

40

50

【0003】

ここで、例えば、特許文献1では、男性用尿取りパッドが開示されている。即ち、同技術では、陰茎を収納するように袋状に形成した尿取りパッドの、睾丸に当接する側の外側面に汗を吸収する生理ナプキンを貼付し、尿取りパッドの外面側の不透液性シートが当接される睾丸や股間の局部での発汗を吸収する。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2010-35691号公報

【考案の概要】

10

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、上記特許文献1に開示された男性用尿取りパッドは、外面側の左側下部と右側中央部に両面接着テープが設けられており、使用時には折り畳んで、両面接着テープで接着して、先細りの袋状に形成して使用される。従って、袋状に形成するのに手間がかかり、単に折り畳んだ袋状なので、陰茎の装着部分に快適さを向上させる工夫もされておらず、装着状態も安定しない。

【0006】

そこで、本考案は上述した技術的な課題に鑑みてなされたもので、簡易且つ迅速に装着することができ、快適に使用できる尿取りパッドを提供することを目的とする。

20

【課題を解決するための手段】

【0007】

上述したような技術的な課題を解決するため、本考案の第1の態様に係る尿取りパッドは、シート状の吸収性部材と、上記吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透性部材からなるバックシートと、を備え、上記吸収部材及び上記バックシートからなる積層体の略中央部よりも上の領域において当該積層体の長手方向に延びた開口部が設けられており、装着に際しては上記開口部より陰茎を挿入し、当該開口部よりも下に設けられた上記積層体の短手方向に平行な折曲部で上記積層体を上記バックシートが外面となるように折り曲げることを特徴とする。

【0008】

30

本考案の第2の態様に係る尿取りパッドは、吸収性部材と、当該吸収性部材の一方の面に貼り付けられたバックシートとを有する積層体を、備え、上記積層体の長手方向の両端が接合部で接合することで、上部及び下部の少なくともいずれかが開口した中空の筒状体に成形され、上記積層体の長手方向の略中央から上部にかけて所定長の開口部が設けられていることを特徴とする。

【考案の効果】

【0009】

本考案によれば、簡易且つ迅速に装着することができ、快適に使用できる尿取りパッドを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

40

【0010】

【図1】本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

【図2】本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの使用態様図である。

【図3】本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示す図である。

【図4】本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示す図である。

【図5】本考案の第2の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

【図6】本考案の第2の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示す図である。

【図7】本考案の第3の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

【図8】本考案の第3の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示す図である。

【図9】本考案の第4の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

50

【図10】本考案の第5の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

【考案を実施するための形態】

【0011】

以下、本考案の尿取りパッドに係る好適な実施形態について図面を参照しながら説明する。なお、本考案の尿取りパッドは、以下の記述に限定されるものではなく、本考案の要旨を逸脱しない範囲において、適宜変更可能である。

【0012】

(第1の実施形態)

図1には本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し、図2には当該尿取りパッドの使用態様図を示し、図3、4には本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示し、説明する。

10

【0013】

図1に示されるように、尿取りパッド1は、シート状の吸収性部材2からなり、当該吸収性部材2の一方の面(装着時に外表面に相当)にはバックシート6が、他方の面(装着時に内表面に相当)にはトップシート8が、貼り付けられている。即ち、この尿取りパッド1は、トップシート8と吸収性部材2、バックシート6の積層体からなる。但し、吸収性部材2の単層、或いは吸収性部材2とバックシート6との複層としてもよいことは勿論である。

【0014】

吸収性部材2としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、ラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着纖維等の合成纖維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材2は、複層のマット状でもよい。

20

【0015】

トップシート8は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエスチル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したもの用いることができる。

【0016】

そして、バックシート6は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

30

【0017】

尿取りパッド1は、その長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ糸ゴム入りのギャザー3a、3bが設けられており、略中央部分に短手方向に平行に設けられた折曲部7での折り曲げを容易ならしめている。尿取りパッド1は、例えば長手方向に約30~40cm、短手方向に約13~15cmの矩形状となっているが、これには限定されないことは勿論である。

【0018】

尿取りパッド1の吸収性部材2、トップシート8、バックシート6は、前述したように積層されているが、積層体の略中央部よりも上の領域において、長手方向に延びた橜円形の開口部4が設けられている。これは、装着時にペニスを挿入する部分である。尚、開口部4の形状は橜円形に限らず、円形、矩形状、いずれの形状でもよい。但し、縦長の橜円形とした場合には、陰茎の多様なサイズに装着位置を対応させることが可能となる。

40

【0019】

尿取りパッド1のバックシート6の中央より下方の領域には、長手方向に平行となるように所定長の2本の粘着テープ5a、5bが設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド1を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用することができ、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。また、粘着テープの数は2つに限定されることは

50

勿論である。

【0020】

次に、実際の使用態様について説明する。

【0021】

図2に示されるように、実際に使用する際には、バックシート6の略中央よりも上方の領域が陰部の肌に当接するように当てがい、その際に開口部4にペニスを挿入する。そして、トップシート8が内側となるように、折曲部7で吸収性部材2を折り畳む。このとき折曲部7の両端はギャザー3a, 3bとなっているので、簡易に折り曲げることが可能である。この折り曲げにより、ペニスは2つ折りにされたトップシート8により表裏を覆われることになる。従って、放尿された尿はトップシート8を介して、吸収性部材2により確実に吸収されることになる。

10

【0022】

図3, 4は、実際に紙おむつの中で尿取りパッド1を併用する様子を示している。この図3に示されるように、2つに吸収性部材2を折り畳むと、バックシート6の略半分が前面に向くのでそのバックシート6に設けられた粘着テープ5a(5b)が、紙おむつ側の内面に向くことになる。そこで、当該粘着テープ5a(5b)を紙おむつの内面にしっかりと貼り付ければ、位置ずれしないように固定することが可能となる。

20

【0023】

以上説明したように、本考案の第1の実施形態によれば、シート状の吸収性部材2と上記吸収性部材2の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシート6とを備え、上記吸収部材2及び上記バックシート6を有する積層体の略中央部よりも上の領域において当該積層体の長手方向に延びた開口部4が設けられており、装着に際しては上記開口部4よりペニスが挿入され、当該開口部4よりも下に設けられた上記積層体の短手方向に平行な折曲部7で上記積層体を上記バックシート6が外面となるように2つに折り曲げることを特徴とする尿取りパッドが提供される。

30

【0024】

ここで、上記吸収性部材2の他方の面には液透過性部材からなるトップシート8が貼り付けられてもよい。

【0025】

さらに、上記バックシート6の中央より下方の領域には、上記積層体の長手方向に平行となるように所定長の粘着テープ5a, 5bが設けられていてよい。

40

【0026】

また、上記積層体の長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ糸ゴム入りのギャザー3a, 3bが設けられていることとしてもよい。

【0027】

従って、第1の実施形態に係る尿取りパッドによれば、2つ折りにするだけで簡易に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、装着された後においても、左右の両端が開いているので、通気性がよく、快適な使用感をユーザに与えることができる。

50

【0028】

(第2の実施形態)

図5には本考案の第2の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し、図6には当該尿取りパッドの使用状態を示し、説明する。

【0029】

図5に示されるように、尿取りパッド10は、吸収性部材12と、当該吸収性部材12の一方の面に貼り付けられたトップシート11と、他方の面に貼りつけられたバックシート13と、からなる積層体14により構成されている。そして、積層体14は、接合部17で両端を接合することで、開口部が橜円形状の中空の筒状体に成形されており、トップシート11は筒状体の内側、バックシート13は筒状体の外側に位置する。尚、吸収性部

50

材12のみの単層、或いは吸収性部材12とバックシート13とからなる複層で構成してもよいことは勿論である。

【0030】

吸収性部材12としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、ラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着纖維等の合成纖維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材12は、複層のマット状でもよい。

【0031】

トップシート11は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエスチル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したもの用いることができる。

10

【0032】

そして、バックシート13は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

【0033】

積層体14は、上部と下部に開口部18, 15があり、筒状で中空となっている。上部の開口部18の直径は例えば約13~15cm、下部の開口部の直径は例えば約3~4cmとなっている。つまり、積層体14は、上部からしばらく略同じ径の筒状の形状が続いた後、下方にて直径が段階的に小さくなるように構成されている。所謂先細りの形状である。

20

【0034】

そして、積層体14には、その長手方向の略中央から上部にかけて所定長縦長の橢円形の開口部19が設けられている。この開口部19は、装着時にペニスを挿入するためのものである。開口部19の長手方向の径は例えば約10cm、尿取りパッド10の全体の長手方向の長さは例えば約20~25cmとなっている。尚、開口部19の形状は橢円形に限定されるものではなく、円形、矩形等、種々の形状とすることができます。縦長橢円形の形状とした場合には、多種多様な陰茎のサイズに合わせて、装着位置の位置合わせを容易に行うことを可能ならしめる。

30

【0035】

更に、バックシート13の、開口部19の配設位置と対向する面には、尿取りパッド10の長手方向に平行となるように、所定長の2本の粘着テープ16a, 16bが設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド10を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用でき、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。粘着テープは2本に限らないことは勿論である。

【0036】

図6は、実際に紙おむつの中で尿取りパッド10を併用する様子を示している。この図6に示されるように、開口部19からペニスを挿入すると、筒状の積層体14によりペニスは被覆される。この装着状態では、開口部19に対向するバックシート13の領域が前面に向くのでそのバックシート13に設けられた粘着テープ16a(16b)が、紙おむつ側の内面に向くことになる。そこで、当該粘着テープ16a(16b)を紙おむつの内面にしっかりと貼り付ければ、位置ずれしないように固定することができる。

40

【0037】

以上説明したように、本考案の第2の実施形態によれば、吸収性部材12と、当該吸収性部材12の一方の面に貼り付けられたバックシート13とを有する積層体14を備えており、上記積層体14の長手方向の両端が接合部17で接合することで、上部及び下部が開口18, 15した中空の筒状体に成形され、上記積層体14の長手方向の略中央から上部にかけて所定長の開口部19が設けられていること、を特徴とする尿取りパッド10が

50

提供される。

【0038】

ここで、上記吸収性部材12の他方の面には液透過性部材からなるトップシート11が貼り付けられてもよい。

【0039】

さらに、上記バックシート13の開口部19の配設位置と対向する面には、長手方向に平行となるように、所定長の粘着テープ16a, 16bが設けられていてよい。

【0040】

従って、第2の実施形態に係る尿取りパッドによれば、開口部19にペニスを挿入するだけで簡易に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、装着された後においても、上部及び下部が開口部18, 15により開いているので、通気性がよく、快適な使用感をユーザに与えることができる。また、この開口部18, 15に指を入れて装着作業をすることもでき、作業効率がよい。さらに、ペニスを包み込む構成なので、しっかりと尿を吸収することができる。

10

【0041】

(第3の実施形態)

図7には本考案の第3の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し、図8には当該尿取りパッドの使用状態を示し、説明する。

20

【0042】

図7に示されるように、尿取りパッド20は、吸収性部材22と、その一方の面に貼り付けられたトップシート21と、他方の面に貼りつけられたバックシート23と、からなる積層体24により構成されている。そして、積層体24は、接合部26で両端並びに下端を接合することで、開口部が橜円形状の中空の筒状体に成形されており、トップシート21は筒状体の内側、バックシート23は筒状体の外側に位置する。尚、吸収性部材22のみの単層、或いは吸収性部材22とバックシート23からなる複層で構成してもよいことは勿論である。積層体24は、両端並びに下端が接合されているので、所謂袋状になっている。

30

【0043】

吸収性部材22としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、フラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着纖維等の合成纖維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材22は、複層のマット状でもよい。

30

【0044】

トップシート21は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエスチル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したもの用いることができる。

40

【0045】

そして、バックシート23は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

【0046】

積層体24は、上部にのみ開口部27があり、中空となっている。上部の開口部27の直径は例えば約13~15cmとなっている。積層体24は、上部からしばらく同じ径の筒状が続いた後、下方にて直径が段階的に小さくなるように構成されている。いわゆる先細りの形状となっている。

【0047】

そして、積層体24には、その長手方向の略中央から上部にかけて所定長縦長の橜円形の開口部28が設けられている。この開口部28は、装着時にペニスを挿入するためのものである。開口部28の長手方向の径は例えば約10cm、尿取りパッド20の全体の長

50

手方向の長さは例えば約20～25cmとなっている。尚、開口部28は、橢円形に限定されることなく、例えば円形、矩形等、種々の形状とすることができます。縦長の橢円形とした場合には、尿取りパッド20が、様々なサイズの陰茎にフィットするよう位置合わせをすることが可能となる。

【0048】

さらに、バックシート23の、開口部28の配設位置と対向する面には、尿取りパッド20の長手方向に平行となるように、所定長の2本の粘着テープ25a, 25bが設けられており、更に短手方向に平行となるように、所定長の1本の粘着テープ25cが設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド20を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用でき、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。粘着テープの数は3本に限定されるものではない。

【0049】

図8は、実際に紙おむつの中で尿取りパッド20を併用する様子を示している。この図8に示されるように、開口部28からペニスを挿入すると、筒状の積層体24によりペニスは被覆される。この装着状態では、開口部28に対向するバックシート23の領域が前面に向くのでそのバックシート23に設けられた粘着テープ25a(25b), 25cが紙おむつ側の内面に向くことになる。そこで、当該粘着テープ25a(25b), 25cを紙おむつの内面にしっかりと貼り付ければ、位置ずれしないように固定可能となる。

【0050】

以上説明したように、本考案の第3の実施形態によれば、吸収性部材22と、当該吸収性部材22の一方の面に貼り付けられたバックシート23とを有する積層体24を備えており、上記積層体24の長手方向の両端が接合部26で接合することで、上部が開口27した中空の筒状体に成形され、上記積層体24の長手方向の略中央から上部にかけて所定長の開口部28が設けられていること、を特徴とする尿取りパッド20が提供される。

【0051】

ここで、上記吸収性部材22の他方の面には液透過程部材からなるトップシート21が貼り付けられてもよい。

【0052】

さらに、上記バックシート23の開口部28の配設位置と対向する面には、長手方向に平行となるように、所定長の粘着テープ25a, 25bが設けられ、短手方向と平行となるように、所定長の粘着テープ25cが設けられていてよい。

【0053】

従って、第3の実施形態に係る尿取りパッドによれば、開口部28にペニスを挿入するだけで簡易に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、下部が閉じられているので、長時間の運転や労働、会議等でも、しっかりと尿を吸収することができるので、安心して着用することができる。

【0054】

(第4の実施形態)

図9には本考案の第4の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し説明する。

【0055】

図9に示されるように、尿取りパッド30は、吸収性部材32と、その一方の面に貼り付けられたトップシート31と、他方の面に貼りつけられたバックシート33と、からなる積層体34により構成されている。そして、積層体34は、接合部37で両端を接合することで、開口部が橢円形状の中空の筒状体に成形されており、トップシート31は筒状体の内側、バックシート33は筒状体の外側に位置する。尚、吸収性部材32のみの単層或いは吸収性部材32とバックシート33との複層で構成してもよい。

【0056】

10

20

30

40

50

吸収性部材32としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、ラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着纖維等の合成纖維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材32は、複層のマット状でもよい。

【0057】

トップシート31は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエスチル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したもの用いることができる。

【0058】

そして、バックシート33は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

【0059】

積層体34は、上部と下部に開口部38, 35があり、中空となっている。上部の開口部38の直径は例えば約13~15cm、下部の開口部35の直径は例えば約3~4cmとなっている。但し、これには限定されない。つまり、積層体34は、上部からしばらく同じ径の筒状が続いた後、下方にて直径が段階的に小さくなるように構成されている。そして、上部の開口部38には、略U字状のくぼみ部39が設けられている。これは、装着時にペニスを尿取りパッド30の内部へ挿入するためのものである。

【0060】

更に、バックシート33のくぼみ部39の配設位置と対向する面には、尿取りパッド30の短手方向に平行となるように、所定長の2本の粘着テープ36a, 36bが設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド30を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用でき、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。粘着テープの数は2本には限定されることは勿論である。

【0061】

以上説明したように、本考案の第4の実施形態によれば、吸収性部材32と、当該吸収性部材32の一方の面に貼り付けられたバックシート33とを有する積層体34を備えており、上記積層体34の長手方向の両端が接合部37で接合することで、上部及び下部が開口38, 35した中空の筒状体に成形され、上記積層体34の上記上部の開口部38に略U字状のくぼみ部39が設けられていること、を特徴とする尿取りパッド30が提供される。

【0062】

従って、第4の実施形態に係る尿取りパッドによれば、くぼみ部39よりペニスを尿取りパッド30の内部に挿入するだけで簡単に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、装着された後においても、上部及び下部が開口部38, 35により開いているので、通気性がよく、快適な使用感をユーザに与えることができる。また、この開口部38, 35に指を入れて装着作業をすることもでき、作業効率がよい。さらに、ペニスを包み込む構成なので、しっかりと尿を吸収することができる。

【0063】

(第5の実施形態)

図10には本考案の第5の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し説明する。

【0064】

図10に示されるように、尿取りパッド40は、吸収性部材42と、その一方の面に貼り付けられたトップシート41と、他方の面に貼りつけられたバックシート43と、からなる積層体44により構成されている。そして、積層体44は、接合部46で両端並びに

10

20

30

40

50

下端を接合することで、開口部が橜円形状の中空の筒状体に成形されており、トップシート41は筒状体の内側、バックシート43は筒状体の外側に位置する。尚、吸収性部材42の単層、或いは吸収性部材42とバックシート43との複層により構成してもよい。

【0065】

吸収性部材42としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、フラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着纖維等の合成纖維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材42は、複層のマット状でもよい。

【0066】

トップシート41は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエスチル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したもの用いることができる。

10

【0067】

そして、バックシート43は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

【0068】

積層体44は、上部にのみ開口部47があり、中空となっている。上部の開口部47の直径は例えば約13～15cmとなっている。積層体44は、上部からしばらく同じ径の筒状が続いた後、下方にて直径が段階的に小さくなるように構成されている。そして、積層体44には、その開口部47に略U字状のくぼみ部48が形成されている。このくぼみ部48は、装着時にペニスを尿取りパッド40の内部に挿入するためのものである。くぼみ部48の形状は略U字状には限定されるものではなく、略V字状でもよい。

20

【0069】

さらに、バックシート43のくぼみ部48の配設位置と対向する面には、尿取りパッド40の短手方向に平行となるように、所定長の2本の粘着テープ45a, 45bが設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド40を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用でき、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。

30

【0070】

以上説明したように、本考案の第5の実施形態によれば、吸収性部材42と、当該吸収性部材42の一方の面に貼り付けられたバックシート43とを有する積層体44を備えており、上記積層体44の長手方向の両端が接合部46で接合することで、上部が開口47した中空の筒状体に成形され、上記積層体44の上記上部の開口部47に略U字状のくぼみ部48が設けられていること、を特徴とする尿取りパッド40が提供される。

【0071】

従って、第5の実施形態に係る尿取りパッドによれば、開口部47のくぼみ部48より尿取りパッドの内部にペニスを挿入するだけで簡単に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、下部が閉じられているので、長時間の運動や労働、会議等でも、しっかりと尿を吸収することができるので、安心して着用することができる。

40

【0072】

以上、本考案の実施形態について説明したが、本考案はこれに限定されることなく、その主旨を逸脱しない範囲で種々の改良・変更が可能である。例えば、第1の実施形態では積層体を略中央部の折曲部で2つ折りにする例を示したが、これに限定されることなく左右に2つ折りする構成としてもよい。更に、バックシートの陰部の肌に当接する部分にガーゼ等、吸汗性部材を貼り付けてもよい。さらに、第2乃至第5の実施形態では、橜円形状の開口部を設けた例を示したが、開口部は橜円形に限定されず、円形、四角形等、種々

50

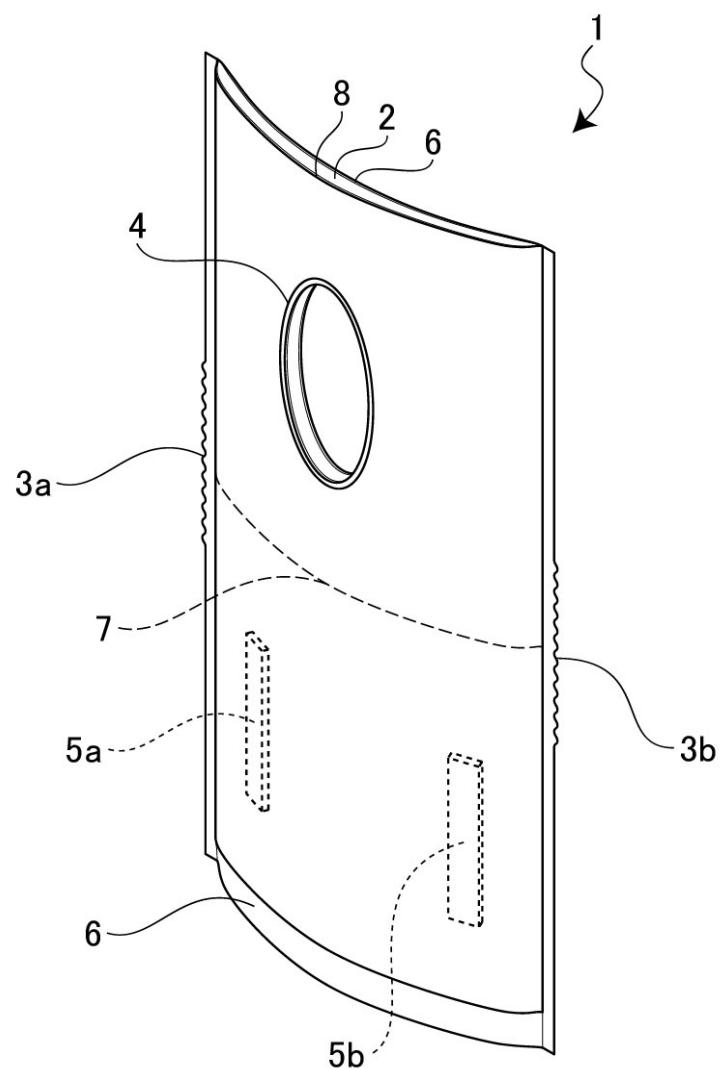
の形状とすることが可能である。

【符号の説明】

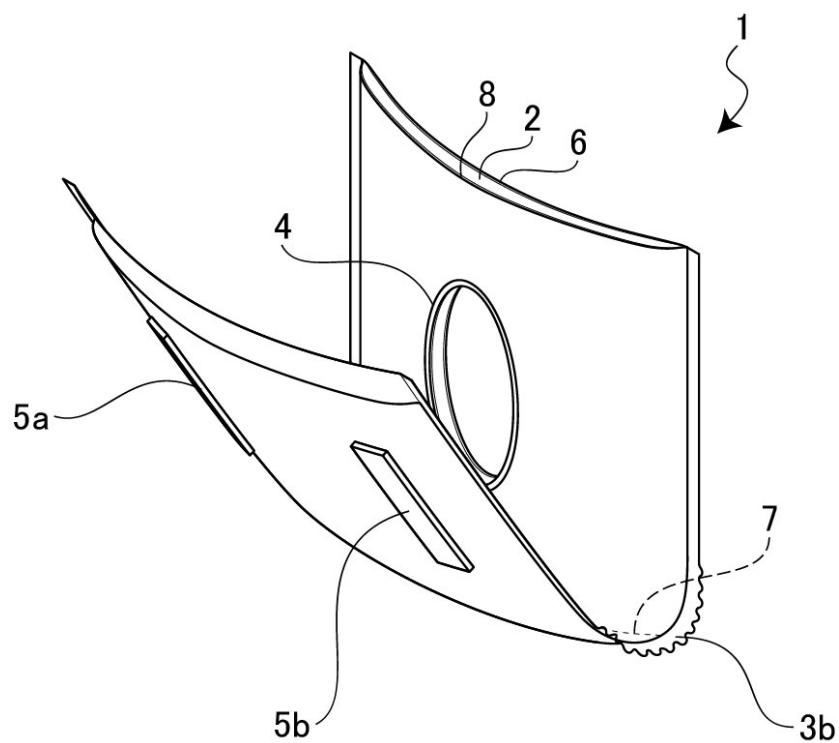
【0 0 7 3】

1	尿取りパッド	10
2	吸収性部材	
3 a , 3 b	ギャザー	
4	開口部	
5 a , 5 b	粘着テープ	
6	バックシート	
7	折曲部	
8	トップシート	
1 0	尿取りパッド	
1 1	トップシート	
1 2	吸収性部材	
1 3	バックシート	
1 4	積層体	
1 5	開口部	
1 6 a , 1 6 b	粘着テープ	
1 7	接合部	
1 8	開口部	20
1 9	開口部	
2 0	尿取りパッド	
2 1	トップシート	
2 2	吸収性部材	
2 3	バックシート	
2 4	積層体	
2 5 a , 2 5 b , 2 5 c	粘着テープ	
2 6	接合部	
2 7	開口部	
2 8	開口部	30
3 0	尿取りパッド	
3 1	トップシート	
3 2	吸収性部材	
3 3	バックシート	
3 4	積層体	
3 5	開口部	
3 6 a , 3 6 b , 3 6 c	粘着テープ	
3 7	接合部	
3 8	開口部	
3 9	くぼみ部	40
4 0	尿取りパッド	
4 1	トップシート	
4 2	吸収性部材	
4 3	バックシート	
4 4	積層体	
4 5 a , 4 5 b	粘着テープ	
4 6	接合部	
4 7	開口部	
4 8	くぼみ部	

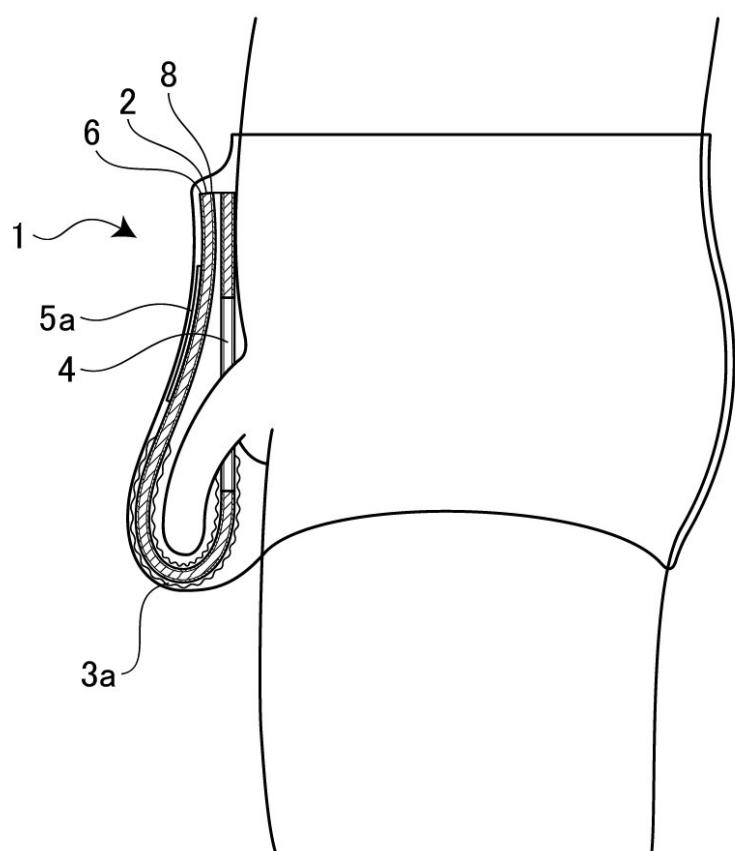
【図1】



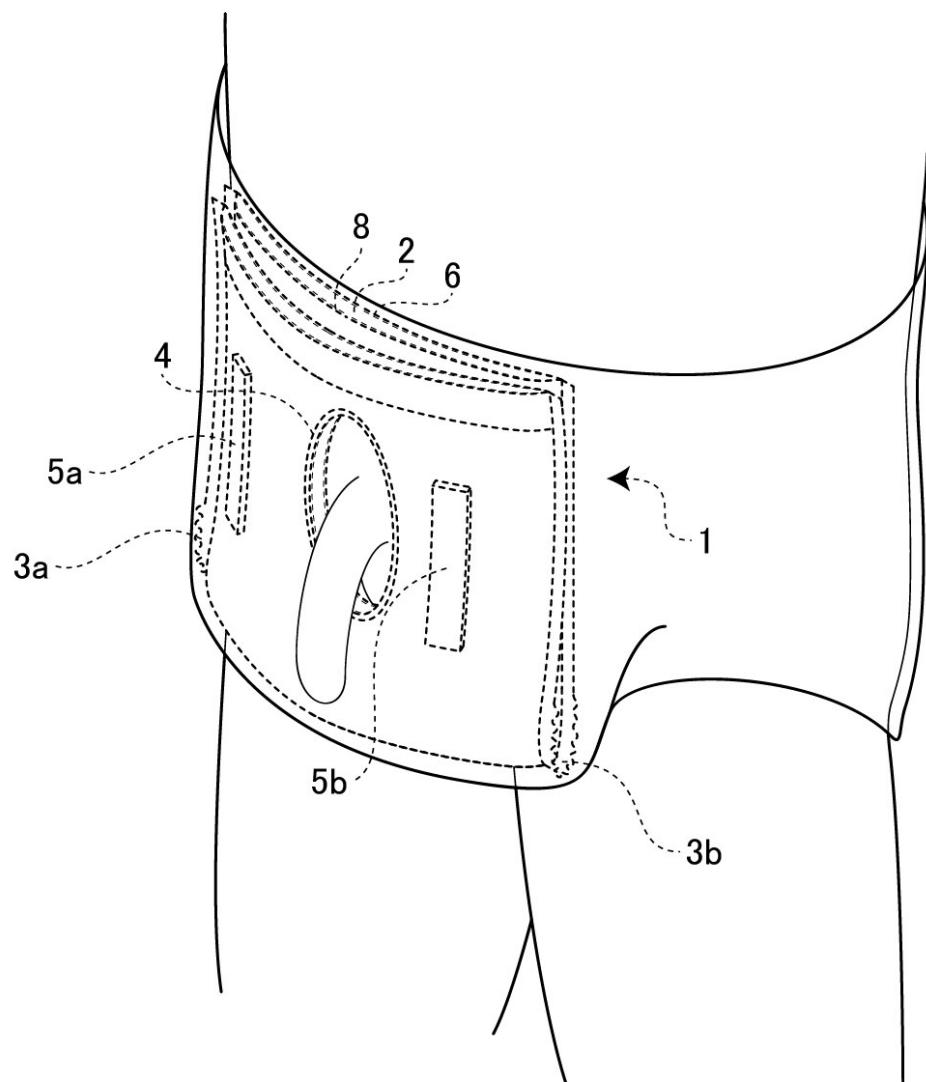
【図2】



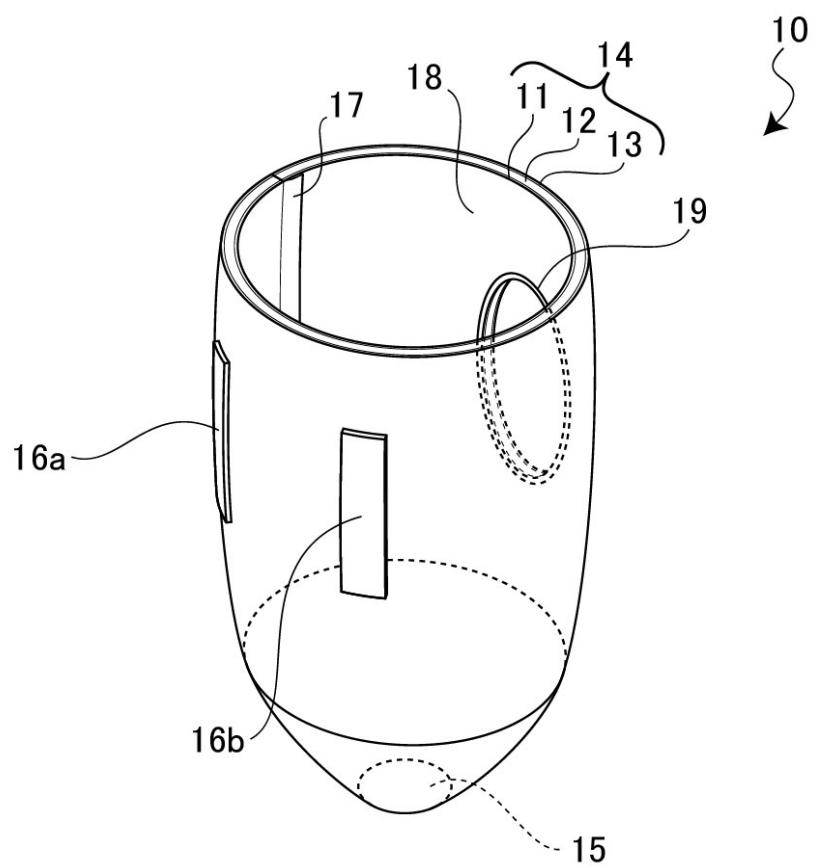
【図3】



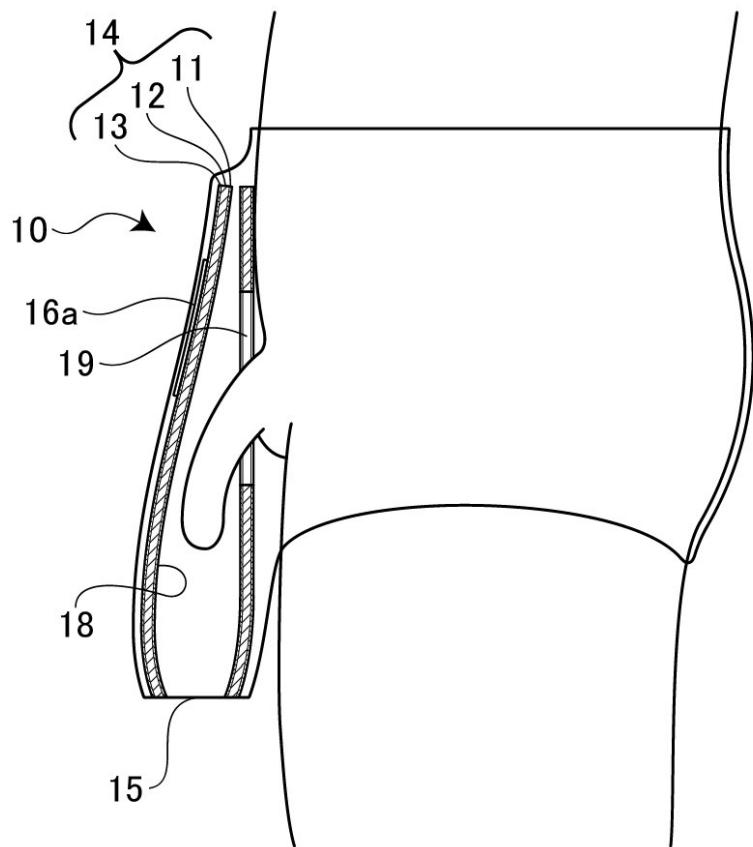
【図4】



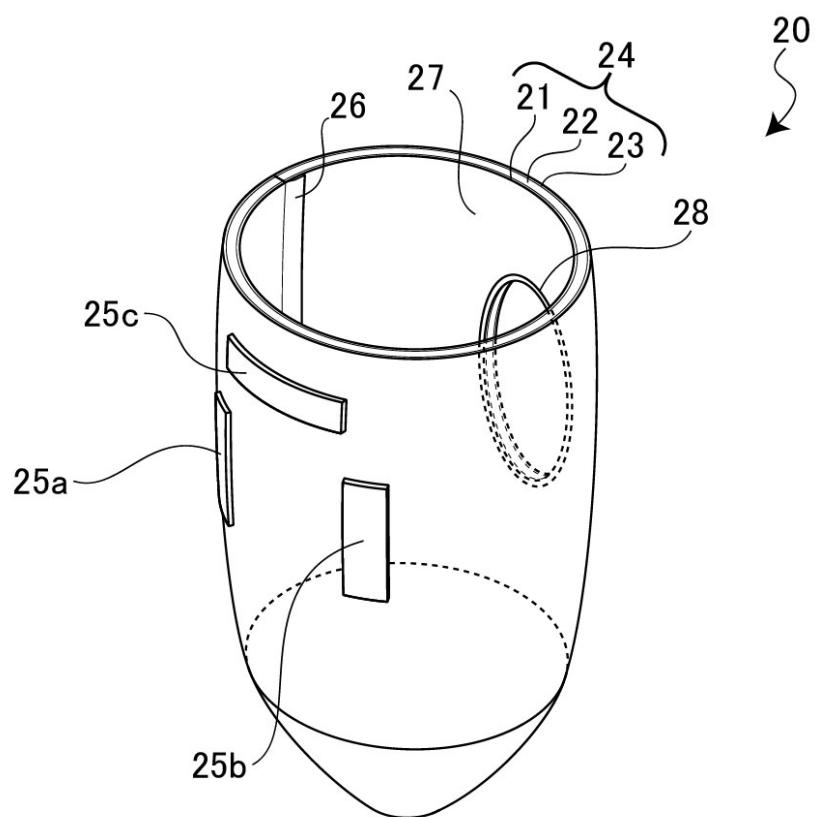
【図5】



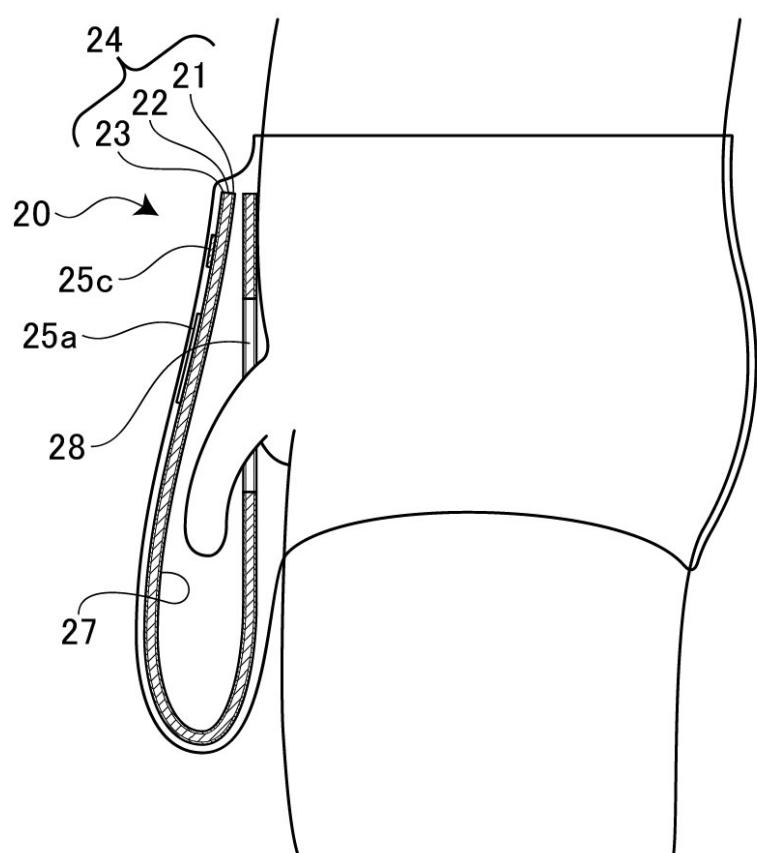
【図6】



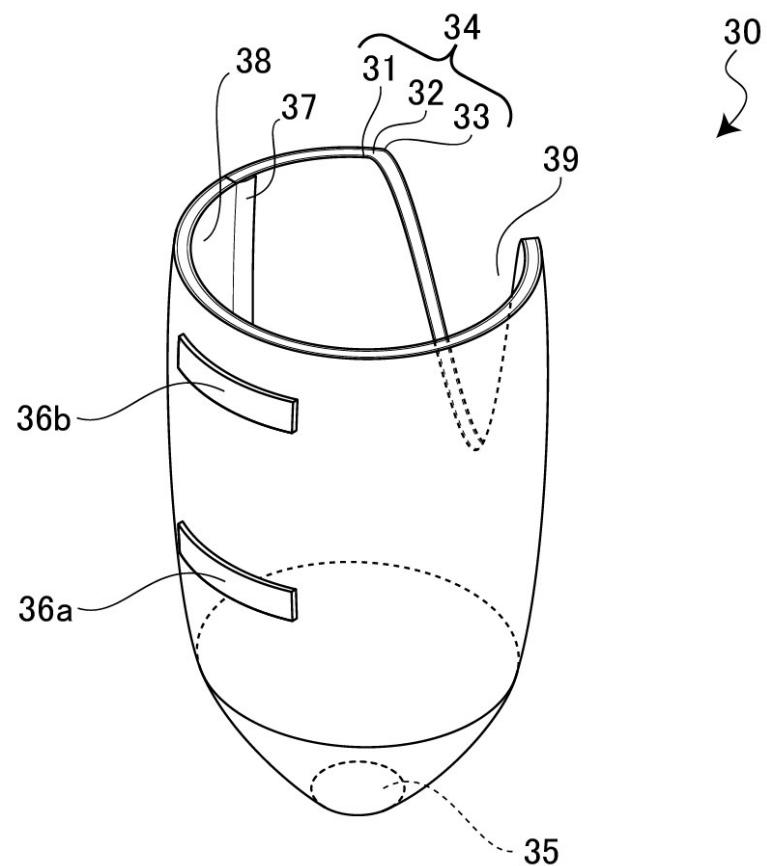
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

